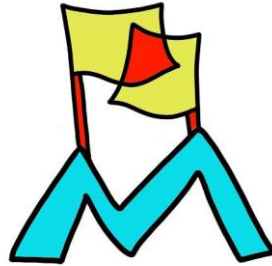


# MATCH FLAG PROJECT 2010

## south Africa in KUMAMOTO



### MATCH FLAG とは

一枚の布に、対戦する二つの国のナショナルカラーの布を使って、日時(2009.1.20)、場所、対戦国名等のモチーフを縫い付けてフラッグを作成するワークショップです。

2009年1月に熊本市や商店街の協力の下、熊本で初めて行われ、後、全国で展開し、今までに全国で10回開催されています。

### MATCH FLAG の経緯

2009年1月20日(火)に熊本(KKWING)で開催されたサッカー国際戦(日本VSイエメン)を熊本市民と共に盛り上げるために、アーティストで日本サッカー協会の広報委員でもある日比野克彦(ひびのかつひこ)氏が熊本の街の人達に呼びかけて、1月11日(日)から18日(日)まで、一般市民も巻き込んだ市民協働事業としてワークショップを開催しました。

できあがった約350枚のフラッグは、中心商店街アーケードを中心に、街なかや空港、駅、試合会場等に掲げられました。

熊本市民が一体となってサッカー国際戦の開催と日本とイエメンの選手の歓迎ムードを盛り上げたこの事業によって、アートとスポーツを通じて市民、街、行政が協働で街のにぎわい創出に貢献する事業を実現することができました。

### くまもと城下まつりとの連携

4月29日(木・祝)に、第3回目となる『くまもと城下まつり』が開催されます。

これに伴い、前回このプロジェクト実現に協力した商店街を中心に、『くまもと城下まつり』を盛り上げるため、『MATCH FLAG PROJECT 2010 south Africa in Kumamoto』を開催したいと考えています。

これは、2010年6月から7月、南アフリカでサッカーの世界カップが開催されることに伴い、熊本城下まつりの会場及び中心商店街アーケードで、市民の皆さんと一緒にワールドカップを応援するフラッグを作るワークショップを实行しようというものです。

できあがったフラッグは、市民の皆様の協働作品として、中心商店街の看板として一定期間お披露目した後、ワールドカップ会場へと運ばれ、日本代表チームの応援に使われます。

通町筋の会場、下通と新市街のアーケード内の 3 会場で同時開催し、日比野克彦氏にも来遊いただきたいと考えています。

なお、『MATCH FLAG PROJECT 2010 south Africa』は、4月からワールドカップ開催まで、全国で展開される予定です。

### ワークショップ日時

4月29日（木・祝）11：00～15：00

### ワークショップ会場

- ・通町筋（歩行者天国内）
- ・下通アーケード（ダイエー前）
- ・サンロード新市街（Denkikan 前）の3ヶ所

### フラッグ掲示場所及び掲示期間

- ・場所：上通、下通、新市街の空き看板 3ヶ所及び各店舗
- ・期間：看板掲示分：平成22年4月29日（木・祝）～5月28日（金）  
店舗掲示分：平成22年4月29日（木・祝）～7月11日（日）（予定）

### フラッグ材料

- ・空き看板に掲示するフラッグ：防炎加工を施した布（各商店街：1800×4000）
- ・各店舗に掲示するフラッグ：市民から集めた古着を利用したフラッグ  
（各商店街：2000×3000、洋服サイズのフラッグ）

### 主催者等（予定）

主催：MATCH FLAG 協議会（上通商栄会、下通繁栄会、サンロード新市街、KAB 熊本朝日放送、熊本市現代美術館）

共催：熊本城下まつり実行委員会・熊本市、熊本商工会議所

協力：熊本県サッカー協会、株式会社タケモト

### **日比野克彦 Hibino Katsuhiko**

**アーティスト・東京芸術大学教授・日本サッカー協会広報委員**

1958年岐阜市生まれ。東京芸術大学大学院修了。在学中にダンボール作品で注目を浴び、国内外で個展・グループ展を多数開催する他、舞台芸術、パブリックアートなど、多岐にわたる分野で活動中。近年は各地で一般参加者とその地域の特性を生かしたワークショップを数多く行っている。熊本市現代美術館においても、平成19年12月から翌年4月まで『日比野克彦 HIGO BY HIBINO』展を開催。熊本城築城400年にちなんだ石垣ワークショップなど、多くの市民を巻き込んだ協働事業を実施した。